

【川崎市市制 100 周年記念事業】

Colors, Future! ボッチャ!

公民の保育園児がボッチャを通して 笑顔あふれる交流ができました!!

6 月～7 月にかけて、保育園児がボッチャ交流会を行いました。

ボッチャを知らない子どももいるので、紙芝居でルールを知らせたり、ルールを簡単にしたりすることでどの子どもも取り組むことができました。

初めてボールを持つと「おもたいなあ」「（感触が）きもちいい!」という声があがりました。また、ゲームを繰り返す中で投げ方を工夫する姿も見られました。

ボッチャのいいところは運動の得意不得意関係なく楽しむことができることです。初めて会う園児が笑顔で交流を深めることができました。

公立保育園ではボッチャの貸し出しも行っており、早速借りていく民間保育園もありました。

今後も交流会の様子をお知らせします。

「はじめまして」まずはみんなが知っているゲームでリラックス



フープを的に練習



「いれるのむずかしいな」



「こうやって投げたらいいんじゃない?」



あおぞらの下、光る汗とボール



一か所にあつまる視線



「どうかしら」余韻が伝わってきますね



「さて、次はどうしようか」



「どっちが的に近いかな」先生たちも真剣



「せんせい、ちゃんとはかってね」



勝敗を子どもたちにわかりやすく知らせました



「また、一緒にあそぼうね」とお手紙をもらいました



ACTION 13
スポーツ



ACTION 02
ブランディング



ACTION 10
Well-being

問合せ先

川崎市こども未来局 保育・子育て推進部
運営支援・人材育成担当